

みんなの文芸

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。1人1句、1首に限りです。

7日必着

短歌 (投稿順)

姪からの便り懐し辺事かく辞書を片手に漢字拾い
東雲の半月残る冷える朝始発列車の軋む音聞く
花びらは風に運ばれ若葉萌え流れるように時の過ぎゆく
野に出て遊ぶ子供の声聞けば寒き冬終え春はまもなし
エスエルの内から手振る乗客に笑顔で返す楽しき一瞬
団塊が皆んな後期高齢者昭和平成令和を生きる
陽を浴びて小さき蜥蜴はルビー色出づることなし石間の陰に
当てし人平謝りに謝れば責むる言葉の二の句も継げえず
仏壇を一心不乱灑掃す『オンアボキヤベイ・・・』裕一を想い
摘み草の和えもの一品食卓に添え珍味と香りをたのしめり
我が国は桜咲きしと浮かるるも外つ国未だ戦争の闇
酷寒に耐えて狭庭の花々は老齢われを和ませくれる
激ムズの数独たしかに手強しや思考が止まる今日はここまで
春休み渋谷の街にのまれつつカヌレを食べる友のいる午後

皆野 根岸 詩子
下田野 新井 節子
皆野 萩原 初恵
皆野 大澤 貴夫
皆野 村田ハツ代
上田野 四方田利男
国神 藤原マキ子
皆野 打木 昭廣
皆野 林田 凜太
三沢 新井 叶子
三沢 新井 民子
下田野 浅見 豊子
皆野 引間 万亀
皆野 太幡琉美花

俳句 榎本順江 選 投稿数 20 句

男手も猫の手となりひな飾る
皆野 合歓太

評飾るのも仕舞うのも女の人の役目と思っていましたので男手にびっくりしました。忙しさのあまり駆り出されたのはお父さんでしょうか。家族のほほえましい光景に、お雛様の喜び顔が並びます。お納めるのも頼りにしています。お父さん。二句目、日本人に最も親しまれているという鶯。補聴器に届いた初音に思わず声の先を探してしまい、春の到来を感じる瞬間です。笹鳴きのチャッチャッから始まり、ケキョケキョと長く鳴く谷渡りまで、補聴器が捉えてくれることでしょうか。見て聞いて楽しい日々をお過ごし作者です。三句目、学ランのランは洋服を意味する江戸時代の隠語「ランダ」からということを知りました。成長著しい年頃、皆ちよつと大きめでの入学。体にしつくり合わない制服の姿が初々しさを感じさせます。来年の今頃はびつたりになるかも。楽しみます。

補聴器に入りくる初音歩を緩め
三沢 新井 叶子
菜の花やかつて屋敷のありし跡
皆野 悠利

袖口の長き学ラン入学す
皆野 鳥 弘
缶蹴りや嬉々と遊ぶ子風光る
皆野 萩原 初恵

巡礼の鈴の音微か山笑う
皆野 櫻井 早苗
ふらここや含羞み揺れる恋の椅子
皆野 中田 秀夫

春風や千疋猿の揺るる堂
三沢 新井 民子
強かに総理の外交春爛漫
皆野 根岸 詩子

釣人の竿撓りたり水温む
国神 鈴木 正文
皆野高麗校ニユース春淋し
上田野 四方田利男

歴史継ぐ絵行灯点く春祭り
下田野 新井 節子

「広報みなの」を“音声”で聞かことができます。

視覚に障がいのあるかたや文字を読むことが難しいかたにも「広報みなの」の内容をお届けできるように、記事を音声にした「声の広報」を公開しています。スマートフォンやパソコンからお聞きいただけます。

こちらからお聞きいただけます▶



ご家族や周りのかたにもお知らせください!

町の情報、公式SNSで配信中!

町公式 LINE



町公式 Instagram



町では、LINEやInstagramの公式SNSで最新情報を発信しています。ぜひ登録して、いち早く町の話をチェックしてください。